

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年10月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677700173
法人名	有限会社三木
事業所名	グループホームおおきな木 辻岳
所在地	鹿児島県肝属郡南大隅町川南3611 (電話) 0994-24-2001
自己評価作成日	平成27年9月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年9月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者さまが、今日も1日楽しかったと笑顔が見られ、笑い声が聞こえる施設作りに努めています。
またご家族の皆様より、ここなら安心して任せられると言える施設作りに努めています。
積極的に地域の行事へも参加し入所者様が楽しく生活ができるよう、暖かみのあるホーム造りを目指しています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームの理念は、開設10年目を記念した年に、代表者や職員全員で見直しをしている。これまでの理念をベースにしてさらにわかりやすく細分化しており常に理念を意識したケアを日々実践している。また、理念は社訓と合わせて職員に浸透し大切にされている。
- ・地域は、高齢者も多いが若年世帯も混在している。地域交流は、年間の行事を通じておこなったり、地域ボランティア、中学生の福祉体験学習、地域サッカーメンバーの慰問などを積極的に受け入れている。
- ・運営推進会議は、メンバーが積極的に参加し家族代表は2カ月に1回交代し、地域が広域なため複数の民生委員も参加している。また、家族が参加しやすいよう日曜日に会議を調整するなど配慮もしている。
- ・管理者は、入院先に出向き1日も早い回復を願い面会して本人、家族の希望に沿うべく主治医を始めとする医療関係者と連携を図っている。今年1月には、看取りを経験しているが、「重度化や看取りに対する対応の指針」を定めて安心や納得が得られるよう本人、家族、関係機関と連携しながらチームケアにて支援している。
- ・かかりつけ医は、本人や家族が望む医療機関になっており医療体制が構築され、随時の対応や他科受診などは職員が対応したり、家族にも協力をもらっている。また、受診ノートを活用して医師などとの情報の共有を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の行事に参加し利用者の方々と楽しく過ごし優しく接するように心がけている	ホームは、10年目の節目の年に理念を見直している。6つのキーワードを含む新しい理念は代表者、職員全員で考えられた理念であり、社訓とともに朝礼や職員会議で話し合い実践し共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のなつまつりに参加し、スポーツ少年団、町の中学生、地域皆様方の慰問を受け交流がうまくできている	今年も夏祭りの灯籠作りに参加、ホームはスポーツ少年団の子供達との交流や中学生の職場体験の受入れ、地域のボランティア、消防団員など地域と積極的に関わり交流している。また、地域の方から野菜などの差し入れをいただくなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の各種行事を通じて施設の利用者の方々との触れ合いを図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの活動内容の報告と会議での要望、提案等を検討し、サービスの向上に活かしている	行政の担当者を始めメンバーは会議への出席も協力的で家族代表は2ヶ月に1回は交代している。昨年12月の会議は日曜日に開催し、参加家族も多く活発な意見交換ができた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	相談事や分からないこと等がある時は直接行って相談したり、電話等で連絡を取り合うようにしています	市担当者とは面談や電話でやりとりすることが多い。市主催の勉強会や懇親会などへの誘いもあり職員に参加するよう働きかけている。福祉事務所担当者や社会福祉協議会職員との協力関係も築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎日に朝礼、職員会議等で身体拘束の知識を深め拘束のない介護を行う様取り組んでいます。	鍵をかけない自由な暮らしを実践しているホームである。転倒防止のため、ベット柵に鈴をつけて注意喚起したり外出に興味を示す方にはさりげなく寄り添い話し相手になるなど身体拘束をしないケアに取り組んでいる。職員は、ケース検討会議などで個別の対応を検討するなど常に利用者の立場を考えたケアやサービスを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間で話し合いや意見交換することで虐待防止にの徹底に繋がっています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎年社会福祉協議会が実施している研修会に参加し自立支援事業や後見人制度の勉強会に参加している。自立支援事業は必要とした利用者には活用している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設での生活に不安が無いように、管理者が十分な説明を納得いくまで説明している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、居室担当者を中心に職員」で意見や要望を伺っている	利用者には普段の会話やケアの中で希望や要望を聞き取るようにしている。家族には毎月1回以上の面会を依頼しており、面会に来られた時は必ず職員が家族と膝を交え話をしよう心がけている。毎月ホームから家族宛の手紙を出しており、希望や要望などについて忌憚なく意見を出していただくよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営会議や職員会議の時に要望や意見を出す機会があり、その時話し合いを実施している	運営者は、職員と個人面談し意見や提案を聞く機会を作り、給与や資格手当などの見直しを検討するなど職場環境をよりよくするための方策を検討している。運営者、管理者は、業務推進会議を開き運営について意見交換し、職員会議で報告し運営に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の要望や意見はその都度対応し、やる気を失わせないように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種研修には積極的に参加できるようにし報告と意見交換を実施している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域での研修会を介して同業者との意見交換を図りサービスの質の向上を目指している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しく変わった生活環境での不安や心配等を1日でも早く取り除くことが出来る様に優しく声掛けを行い早く信頼関係が築ける様に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の方々が気軽に相談できる様に面会に来て下さった時には積極的に会話をするように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申込みに来られた時から、本人さまの状況、家族の状況等を聞いて、入所時に再度聞き取りし、どのような支援が必要か見極めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様のできる事には積極的に参加して頂いて共に楽しい生活が送れるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月近況報告書を送付しています。必要に応じて電話連絡したり、面会時に話し合いを実施しています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	両社さんが帰宅されたり、墓参り行かれたり、家族や知人の来訪が頻繁にあり、居室、応接室でゆっくり話ができる様になっています	知人や友人の方がホームに遊びに来られたり、手紙や電話を取り次ぐなどの支援をして人とのつながりが途切れることがないよう配慮している。大型連休、盆・正月など外泊したり、地域に帰る利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	昼寝の時間以外は、ほとんどホールで過ごされていることから孤立することなく関わりが持てている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居者様が入院された時等は面会に行き励まし等をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の希望をくみ取りケース記録や業務日誌、申し送りノートで共有し、希望や意向に添えるようにしています	職員全員が利用者の気持ちや思いなどを十分に把握し意向に沿えるよう処遇会議を開催したり、ケース記録や業務日誌、申し送りノートなどで情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者さま一人一人のリズムを尊重し、その人に合わせた生活が送れるように支援しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の興味の持てることを把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に家族や本人との話し合いを設け作成している	利用者は年々重度化してきているが、本人が自分らしく普段の生活ができるよう検討している。ケアチェック表の活用をしたり、日誌の書き方を統一し情報の共有化を推進するなどして本人、家族、関係者間で話し合い、本人の望む現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一月の業務日誌や申し送りノートを記録し記録、処遇会議を実施し介護計画の見直しを実施している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時のニーズに柔軟な姿勢で対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生員、ボランティア、家族の協力を貰いながら支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する、かかりつけ医に日常の状態を診察してもらい家族とも密に相談し支援できるようにしている	本人、家族の望むかかりつけ医となっている。職員は家族に代わり外来受診や通院介助を支援したり、入院中の利用者を見舞い医療関係者と連携を図るなどしている。内服薬は薬剤師がホームに届けてくれるのでその都度指導・助言を受け連携している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在看護師が不在であり、職員間での情報は共有できている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中の看護師やスタッフ、家族との話し合いを密にして利用者が安心して入退院できる様に支援している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>普段から、家族と話し合い施設でできる事を伝え、かかりつけ医とも相談しスタッフ全員で支援して行けるように取り組んでいる</p>	<p>看取りについては、マニュアル化されており、別に重度化や看取りに対する対応の指針を定め入所時や段階に応じて十分に説明し同意をもらっている。主治医、職員、家族と連携を密に取り安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の変化、きずきをスタッフ全員で取り組んでいる。救命講習も全員で習得し定期的に実践、再確認している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立会いの避難訓練や地域消防団との合同訓練も実施し協力体制も整えている</p>	<p>年2回消防署立ち合いの避難訓練や消防団との合同訓練を実施している。地域は若年世帯や高齢者、商業施設があり地域の協力体制としては不十分な面があるが、管理者は公務員職員住宅や商店主などへの声かけをおこなうなど協力体制を検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重して言葉かけの対応をしている	利用者には、地元言葉で優しく丁寧に声かけするなどし、一人ひとりの人格を尊重し対応している。職員は、申し送りや職員会議などでプライバシーなどについて話し合うようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定ができる様に本人の思いや希望を聞くように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースを大切にしておのその日々を楽しく有意義に		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人に会ったおしゃれなどは、家族に方が準備されているのでその人らしい身だしなみが出来ている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物に行ける人は、一緒に食材を買いに行ったり、片づけをされたり、茶わん洗いをされたりしている	食事形態を工夫したり食事介助するなど本人が無理なく食べやすいよう支援している。地域や家族から差し入れがあったり、菜園での収穫を料理に活用している。また、梅干し、高菜漬などの保存食作り、花見は手弁当を楽しんでいる。職員と買い物に行く利用者、片付けを手伝う利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下困難な方に対して、ミキサー食にしたりきざみにしたりしている。水分補給も声掛けし飲んで頂いている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯磨き、うがい等の口腔ケアを実施している磨き残しのある方に対しては介助し仕上げ磨きをするようにし支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意のある利用者、歩行可能立位、在保持の可能な方はその人に合わせたリズムでトイレ介助するように支援している。	排泄チェック表や本人のサインを見逃すことがないようにタイミングを重視し、トイレで排泄できるよう支援している。視覚障害者の方には鈴を活用、トイレ誘導時の声かけは利用者に合わせて声かけなどしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多く飲んでもらったり食物繊維の多い食事を心がけている。医師と相談の上 内服を服用している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人にあった入浴方法でシャワー浴、水槽浴、不可能な時には清拭を実施している。	入浴は、それぞれ利用者の心身機能に個々に応じた入浴方法を検討するなど柔軟に取り組んでいる。家族と一緒に温泉浴を楽しむ利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	時間に関係なく個々に合わせた休息、毎日昼寝を設けている必要な時には医師と相談して内服を服用している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師との連携によりその時々処方、変化の確認をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各誕生日の実施、花見、ソーメン流し夏祭りの参加、ぶどう狩りとうに行き気分転換を図っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一時帰宅や墓参りなどを家族と相談しながら支援している	年間行事計画を立て四季折々の季節を感じたり地域との交流ができるよう配慮し、家族に協力をいただきながら自宅訪問や墓参りができるよう支援している。今年も花見見物、ぶどう狩りなどに出かけており日常は、通院や買い物にドライブがてら出かけるなど外出することを大切に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人での現金管理はしていないが、外出時買い物を楽しんだり必要時には職員の方で買い物をしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人に手紙を書いてもらったりし、近況報告書と一緒に送付している。電話はいつでも利用できるようにし取り次いでいる</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームは住宅地に立てられ静かな環境である。共用空間はゆったりしたスペースで明るく室温、換気にも十分配慮されている。季節を感じられる様に花も飾られ気持ちよくくつろげるような雰囲気である</p>	<p>採光もあり、掃除がいき届いた共有スペースであり、対面式のキッチンから料理の匂いや調理する音、職員の表情などが伺え五感を刺激している。ソファ、テーブルや椅子、畳コーナーがあり思い思いに過ごせるよう工夫がされている。壁には行事の写真、利用者の紙工作、折り紙などが掲示されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合う利用者同士で隣り合わせたり話がスムーズに楽しめる様にしている。ゆったりくつろげるようにソファも準備している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には落ち付ける様に家族の写真を飾ったり馴染み物を持ち込んだりされている	ユニットごとに住環境は異なるが、ベット以外は本人、家族と相談して持ち込まれた馴染みの品である。花が好きな利用者の部屋は生花が活けてあり、個々の日常生活を支援している。また滑り止めマットにて転倒防止に配慮するなどしている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	利用者の状況に応じ押し車や呼び鈴を使ったりして安全に過ごせるように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない